

お客様の自宅拝見！

Welcome to my house!

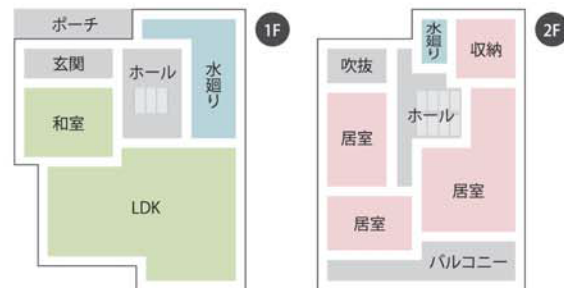


約束の場所

浜松市南区 I様邸

浜松市南区、この地に暮らす人には良く知られている歴史ある住宅地。既存の街並みとの調和を意識した、和モダンの外観に、黒基調の外壁が映えるI様邸。「人が集まる家」がコンセプトの住まいです。

縦格子があしらわれた玄関ポーチから屋内に入ると、全面吹抜けを設けた玄関ホールが広がります。玄関ホールには大型シューズラックと土間収納が設置され、季節の道具の収納に重宝しそうです。ホールを抜けると、小上がり和室が組み込まれたLDKが広がります。「家族が自然に集まる様に。」との想いでプランニングした広々空間は、空間を隔てるものがなく、開放的で心地よい空気を醸し出しています。



LDK



和室

ふすま収納スペース

また、この住まいには、注文住宅の利点を生かした専用造作が各所にあります。和室に設けた“ふすま収納スペース”、キッチンに設けた“小物収納ラック用スペース”、リビングの“ハンモックフックの基礎工事”等々。これらは、I様と設計者、そして大工等の職人とのコミュニケーションの賜物でしょう。



玄関ホールの吹抜け



2階3連の大型窓

2階には玄関吹抜けに面した回廊状の廊下が伸びています。廊下の突き当たりには、3連の大型窓が配されています。ここでは、長男のやまとクンの大好きな新幹線を眺めることができる特等席になっています。「毎日眺められるので、最近では飽きてきたみたいで・・・。」と、ちょっと残念そうなI様。

新築されて変化したことを何うと「一番変わったことは、主人が自分から家の掃除をするようになったことです。これはラッキーな変化です(笑)。」と奥様。

「借家暮らしの時はなかなかできませんでしたが、友人や親族を招待できるようになりました。先日も庭でBBQをやりました。思い描いていたマイホームライフを実現しています。でも、ハンモックフック、まだ活用できていません。せっかく組み込んでもらったのに・・・。」

と、申し訳なさそうにI様。

今回の住まいづくりの思い出をお聞きすると、「外装色は周囲の街並みとの調和、壁紙は建具や家具とのコントラストなど、バランスを意識して考えることは大変でした。でも、間取りを決めるのも、色を決めるのも、家族で色々見学したり、ワイワイ言いながら決めたりと、家族みんなで練り上げたという感じで、結構楽しかったですよ。」とI様。

遊び場となっている和室もやがて本来の姿に戻り、扉各所に取り付けられた保護柵も撤去されるでしょう。そして、当初計画どおり、リビングにハンモックも設置されるでしょう。でも、決して変わらないのは、リビングが家族が自然に集う場所であること。そしてそれは、2階から集まる場所だけでなく、お子様が独立した後でも、帰って来たくなる場所。そんな暖かな空気がI様邸にはありました。